

兵庫県老人クラブ連合会長 様

「東日本大震災被災者支援のお礼」

向寒の候、兵庫県老人クラブ連合会役員の皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素、東日本大震災被災地老連の支援活動に、格別なるご理解とご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

さてこの度、尼崎中央老連様の「お針っ子サークル」の皆様から、厳寒の当地の生活に欠かせない甚平「当地名=ちゃんちゃんこ(袖の無いもの)とか はんどう(袖の有るもの)」とアクセサリー入り巾着袋をいただき、誠に有難うございました。

この冬が例年より雪が少なく、暖冬でありますようにと願っておりますが、震災で被災したこともあって気持ち的にもなかなか温かくなれないのが正直なところであります。このようなおりに、身も心も温まる手作りの着衣をいただき感激いたしております。

頂戴いたしました甚平と巾着は、当市老連が取り組んでおります仮設被災高齢者友愛訪問の際に、メッセージとともにプレゼントさせていただきます。

兵庫県老連の皆様方からは、震災直後からこれまでの間、数々のご支援と激励のメッセージをいただき、被災者からお礼の言葉や感謝の気持ちが寄せられております。

当市老連といたしましても、兵庫県老人クラブ連合会様の被災地支援活動に負けないよう支援に取り組んで参りますが、改めまして厚くお礼申し

上げますとともに深く感謝申し上げます。

東日本大震災から二年八カ月が経過し、宮古市の被災地域では、産業系事業所の再開や住宅高台移転のための用地造成工事、災害公営住宅の建設など、復興に向けて動きが加速し始めている現況となっております。

しかしながら、住宅の建築や公営住宅への入居が可能となるのは、早くて一年から二年先、土地区画整理事業の該当地区では、平成二十八年度以降に住宅建設が可能となる計画が示され、いま暫くは不自由な生活を強いられるものと思います。

終わりに、兵庫県老連様の今後益々のご発展と役職員並びに会員の皆様方のご多幸をご祈念申し上げ、甚だ簡単ではございますがご支援のお礼と近況のお知らせとさせていただきます。有難うございました。

お礼が遅くなりまして申し訳ございません。

追記

十一月十四日の夜、NHK テレビ放送で少しの間でしたが、御地の「のじぎく」が紹介されていました。気候も温かそうで散策される方に人気のスポットとか、宮古市指定の花「はまぎく」に良く似ていて、緑の茎・葉と白い花びらと黄色の中輪、単純な容姿ですがとても爽やかで美しく咲いていて印象的でした。

平成二十五年十一月二十七日

宮古市老人クラブ連合会

会長 木村 一夫

